

福田英子 （おとぎ） 女権論者。慶應三年十月五日備前國生れ、昭和二年五月（百廿）（二八七）（一九二七）。舊姓景山、本名英。別名影山エイ女、景山英子、福田花等。上京して自由黨の加はり、明治十八年の大阪事件に連坐入獄。一十五年福田友作と結婚し二十三年死別。のち角著女子工藝学校を創し、四十年雑誌『世界婦人』創刊。

著書『妾の生涯』（明治二十七年十月）二十五日自刊。再刊・昭和十二年一月二十日改訂版『改造文庫』、住谷悦治編・二十四年一月二十五日實業堂の日本社『近代日本文化叢書』、二十二年四月二十五日岩波書店『岩波文庫』、和田芳恵訳・四十一年十一月二十日角川書店『角川文庫』等。

文獻、獨善狂夫論 『自由の犧牲』（女権の擴張） 景山英子著『（明治二十年八月東京堂）』、村田静子著『福田英子、婦人解放運動の先駆者』（昭和二十四年四月十七日岩波書店『岩波新書』）、早稲田大学社会科学研究所編『社会主義者の書翰』（石川二郎・福田英子宛書翰集と解説）』（昭和十九年七月二十日早稲田大学出版部）、絲屋英雄著『女性解放の先駆者たち—中島淳子と福田英子』（昭和五十五年六月二十日清水書院『人と歴史シリーズ・日本』）等。

